

サイクルイオンの原理と特徴

2枚のネオジム永久磁石を引き合うように向かい合わせ、その間に水を通すと水は発電して電子が発生します。

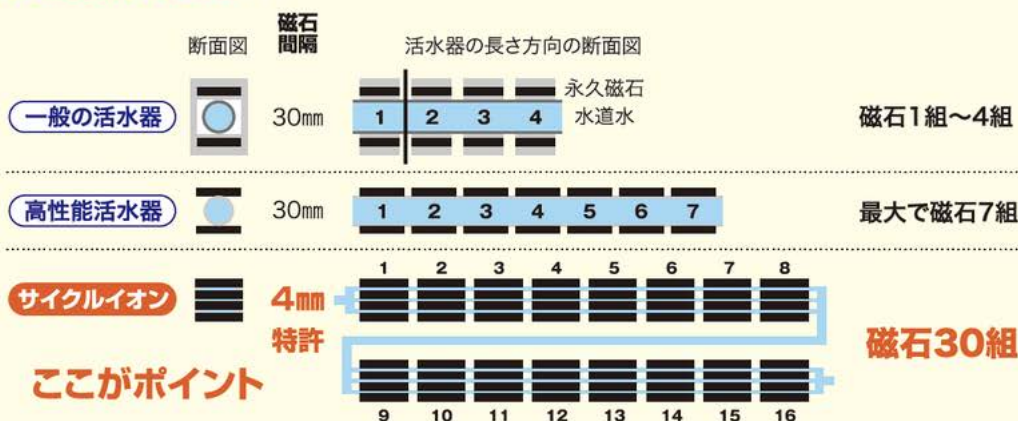
このとき、発生する電子の数は「**磁場の強さに比例します**」

つまり「どうすれば強い磁場を作れるか?」の答えは「**磁石間の距離にあります**」

今までの「水道管をはさむタイプ」(磁石間の距離が30mm)を考えると「そんなに距離を開けたら、とても必要な大量の電子は造れない」ことに注目し、**サイクルイオンは磁石間の距離を4mm(特許)**にしました。

磁石が引き合う力(磁場の強さ)は「**磁石間の距離の2乗に反比例する**」ことから、30mmのものと比較すると $(30/4) \times (30/4) = 7.5 \times 7.5 = 56.25$ 倍になります。

更に**サイクルイオンの特殊な構造は通過する水が磁場を往復するため、一般の活水器の3倍の数の磁石の間を回ります**。 $56.25 \times 3 = 168$ 倍の電子を瞬時に発生するようになりました。これが**サイクルイオンの原理であり驚異的な特許を得た性能**です。



★サイクルイオンをお勧めする大切な理由が沢山あります。

「温泉を自宅で毎日、ふんだんに味わえるサイクルイオン」

★温泉は天然の電子水が地熱で温まったものです。

★温泉は硫黄温泉、炭酸泉とか13種類に分けられますが最も大切な成分は、**豊富な電子であることがわかっています**。ときには、鉱物は人によっては害がある場合もあり、洗い落とす必要が有ります。

昔から「**湯治に大人気**」の温泉の多くが、「**単純泉**」と呼ばれる鉱物が少ない泉質であることは、あまり知られていません。これは、「**人の身体には、鉱物(ミネラル)よりも大切なものがある**」ことを意味しています。

この大切な物こそ電子です。**サイクルイオンは、従来の活水器に比べて168倍以上の豊富な電子を瞬時に水に取り込む**事が出来る世界初の温泉製造機です。

日本で、温泉に行かれる方が多いという事は「**皮膚から電子を受け取ると身体は元気になる**」事が、体験から常識になっているということです。

★自宅温泉が非常に理想的な一つの理由は、「**公衆浴場の場合、法律で塩素を家庭の4倍は入れなくてはならない**」事が挙げられます。

家庭用の水:塩素濃度0.1ppm以上
公衆浴場:塩素濃度0.4ppm以上ですから、
敏感肌の方が感じる「痒さ」はこの塩素が理由のひとつです。



我が家の電子ぶろ